



平戸モノ語り

松浦史料博物館開館70周年記念・九州国立博物館開館20周年記念特別展

松浦静山と 熙の情熱

藩主父子の蒐集譚 未来へ繋がれた眼差し

令和8年(2026)
1/20(火) → 3/15(日)

開館時間 | 午前9時30分～午後5時
毎週金・土曜日は午後8時まで夜間開館
※入館は、閉館の30分前まで
※夜間開館の実施については、九博公式サイトでご確認ください

休館日 | 毎週月曜日
※2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館

会場 | 3階 特別展示室



写真撮影OK (一部作品を除く) <太宰府天満宮横>
九州国立博物館

関連イベント

記念講演会 「平戸モノ語り」の物語

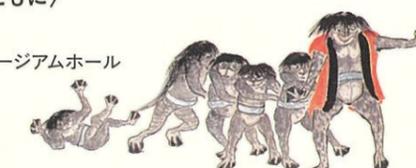
本展を企画した研究員が、静山と熙による収集の背景について詳しく解説します。藩主として収集と考証、次代への継承に情熱を注いだその理由とは…
この講演会を聞けば、展示が更に楽しくなる!

- 2026年2月11日(水・祝)
11時00分～12時00分(予定)
講師: 松浦 晃佑 (九州国立博物館 主任研究員)



<記念講演会、リレー講座ともに>

聴講無料、事前申し込み不要
会場: 九州国立博物館 1階ミュージアムホール
定員: 270名(予定)
※開場は30分前



松浦史料博物館開館70周年記念・九州国立博物館開館20周年記念特別展

平戸モノ語り 松浦静山と熙の情熱

2026年 1月20日(火) → 3月15日(日) 休館日: 毎週月曜日
令和8年 ※2月23日(月・祝)は開館、2月24日(火)は休館

観覧料		
一般	2,000円 (1,800円)	大学生 1,200円 (1,000円)
		高校生以下 ・18歳未満 無料

※()内は前売料金/前売券 販売期間: 2025年10月11日(土)～2026年1月19日(月)
販売場所: ARTNEチケットオンライン、ローソンチケット(Lコード:82094)、セブンチケット、天神定期券発売所(西鉄福岡駅・ソリアステージビル1階)、九州国立博物館ミュージアムショップほか主要プレイガイドにて販売。
※上記料金で九州国立博物館4階「文化交流展(平常展)」もご覧いただけます。※障がい者等とその介護者1名は無料です。展示室入口にて障害者手帳等(詳細は九博公式サイト参照)をご提示ください。※大学生の方は展示室入口にて学生証等をご提示ください。※高校生以下および18才未満の方は展示室入口にて年齢のわかるもの(生徒手帳・健康保険証・運転免許証等)をご提示ください。※ほか詳細は九博公式サイトにてご確認ください。

並ばず事前にお買い求めいただける
オンラインチケットが便利です。

ARTNE TICKET ONLINE
ARTNEチケットオンライン <https://artne.jp/tickets>

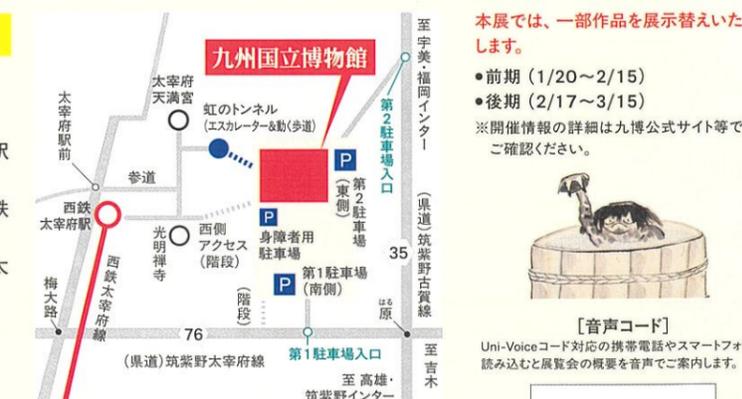
チケット購入は
>>>>>>
こちらから



主催: 九州国立博物館・福岡県、西日本新聞社、TVQ九州放送、西日本新聞イベントサービス
共催 | (公財)九州国立博物館振興財団 特別協力 | 公益財団法人松浦史料博物館、太宰府天満宮 後援 | 福岡市、太宰府市、太宰府市商工会、太宰府観光協会、佐賀新聞社、長崎新聞社、西日本鉄道

交通案内

- 最寄り駅: 西鉄太宰府駅から徒歩約10分
- 最寄り駅へのアクセス:
【西鉄電車】西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線で西鉄太宰府駅下車 ※特急・急行料金不要
【JR】JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用
【西鉄バス】博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(約40分)
- 車: 【九州自動車道】太宰府ICから約15分・筑紫野ICから約20分
【タクシー利用】JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分
※駐車場(有料)には限りがございますので、あらかじめご了承ください。



本展では、一部作品を展示替えいたします。
●前期(1/20～2/15)
●後期(2/17～3/15)
※開催情報の詳細は九博公式サイト等でご確認ください。



【音声コード】
Uni-Voiceコード対応の携帯電話やスマートフォンで読み込むと展示会の概要を音声でご案内します。



<九博公式サイト>
www.kyuhaku.jp



<太宰府天満宮横>
九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 | ハローダイヤル 050-5542-8600 (午前9時～午後8時/年中無休)

舞台は江戸後期、長崎・平戸 正反対な親子の情熱を辿る物語。



まつら せいざん
松浦静山
(1760-1841)

memo

- ✓「生まれながらのお殿様」
…ではなかった
- ✓おばあちゃんっ子
- ✓妖怪・児童が好き、都会が好き、モノを集めるのも好き
- ✓茶の湯は苦手、肖像を描かれるのも嫌い
- ✓好奇心旺盛、ガツガツしている?
- ✓初対面の人にもお願い事ができる「鋼のメンタル」
- ✓記録魔

第一章 静山モノ語り — 交流・収集・考証 —

静山は歴史考証が盛んになった時代に生きたお殿様です。文化人とのネットワークを築き、多種多様なモノを収集しました。しかし、これは古物趣味に基づくものではありません。豊富な資料から正確な歴史を読み取り、後世に歴史を遺すという情熱に裏付けられたものだったのです。静山が収集した作品をもとに、静山の考証態度や知的好奇心について探ります。

静山80歳にしてこの眼力!



三勇像 (通期)
内藤業昌筆 佐藤一斎賛 / 画 江戸時代・天保10年(1839) 賛 江戸時代・天保11年(1840)
長崎・松浦史料博物館



まつら ひろし
松浦熙
(1791-1867)

memo

- ✓父から出世を期待され、英才教育を受ける
- ✓真面目で優等生タイプ、だからこそ悩みも多い
- ✓運動不足解消のために蹴鞠を始める
- ✓地元が好き、能が好き、自分のことも大好き
- ✓母の貯金で甲冑を作る
- ✓父と同じく記録魔

第二章 熙モノ語り — 先祖への想い、子孫への想い —

熙は社会矛盾が広がった時代に生きたお殿様です。松浦家と平戸を守ることを使命とし、先祖や地域ゆかりのモノを収集し、後世に遺すことに情熱を注ぎました。また、熙は想いをモノに込めることで、自らの想いが末永く家と平戸を守ると考えていました。熙が収集・修復し、想いを込めた作品を通じて、どのように子孫と平戸を守ろうとしたかを見ます。

武勇の誉高き武将、
黒いのは理由あり!?



肥前守五位下平戸城主松浦熙
天保三番士辰十一月十四日眞像

熙のこだわりの
詰まった肖像画

松浦熙像(狩衣肖像) (通期)
井手利雄筆 松浦熙賛
江戸時代・天保4年(1833)
長崎・松浦史料博物館



渡辺綱像 (前期)
和田公英筆 江戸時代・弘化3~4年(1846~47)
長崎・松浦史料博物館

静山の好古仲間、 ナニワの大収集家



重要文化財 木村兼霞堂像 (展示期間) 1/20 (火)~2/8 (日)
谷文晁筆 江戸時代・享和2年(1802) 大阪府教育委員会

宮本武蔵像(部分) (通期)
松浦清賛 江戸時代・19世紀 長崎・松浦史料博物館

平戸藩士が描く、 壮麗かつ鮮やかな孔雀図



孔雀図 (通期)
徐峰晋(久間貞八)筆 江戸時代・19世紀 長崎・松浦史料博物館

第三章 特別公開 『家世修古図』と松浦家・平戸の宝

静山の時に作成が始まり、熙の頃には完成したと考えられる『家世修古図』は、松浦家の家宝と平戸に伝わる重宝を精緻な図で記録したものです。遺された松浦家の家宝とともに、貴重な資料である『家世修古図』をこのたび初めて全点公開します。後世に「宝」を遺したいと願った静山と熙の想いが、今ここに蘇ります。

質感が感じられるほどに
精緻な家宝カタログ

正真正銘、剣豪・武蔵!

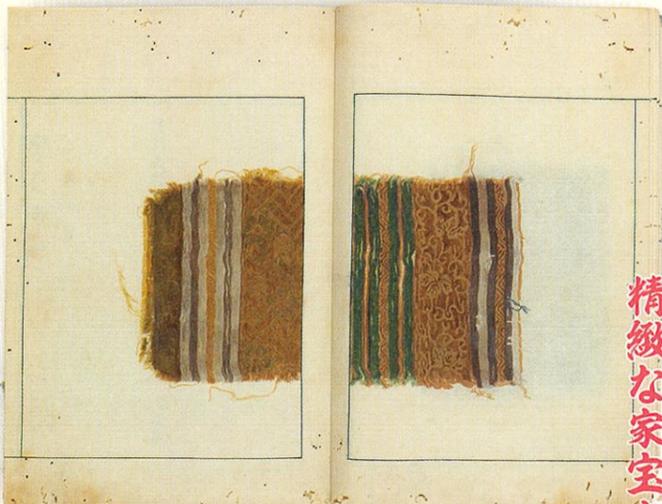


松浦史料博物館のご紹介

松浦史料博物館は、平戸藩主・松浦家に伝来した資料を保存・公開する、長崎県内で最も歴史を有する博物館です。令和七年(二〇二五)十月に開館七十周年を迎えました。本展で紹介する静山と熙が収集した資料のほかに、中世以降の古文書や対外貿易関係・キリスト教に関係する資料、歴代当主・藩主ゆかりの資料など、歴史的・文化的に貴重な資料を所蔵しており、国内外問わず、多くの人々が訪れています。



展示場の様子



家世修古図 (通期)
江戸時代・18~19世紀 個人蔵



室町将軍が
松浦家当主に
授けたと伝わる

素懸紅糸威腹当 (通期)
室町時代・16世紀
長崎・松浦史料博物館

今も昔もモノには物語がつきもの。想いがあってこそモノは残る。江戸時代、平戸藩主であった松浦家。九代藩主の松浦清(号は静山)と十代藩主の熙の親子がいました。二人とも「キャラが濃い」けれど、性格は正反対!本展はこの親子にスポットを当てて、二人が集め、守り伝えた「モノ」から、静山と熙が注いだ情熱とその背景に迫ります。



河太郎図(部分) (通期)
伝松浦清筆 江戸時代・18~19世紀
長崎・松浦史料博物館

【所在地】長崎県平戸市鏡川町12 【公式サイト】www.matsuyama.or.jp